

教科(科目)	保健体育（体育）	単位数	3単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育みます。 ①明確な目標を設定し、その達成に向けて継続的に努力できる力を育成します。 ②主体的・意欲的に学びに向かう姿勢と、誠実で礼儀正しい態度を育成します。 ③前向きに自己の向上に努め、思いやりを持って行動できる力を育成します。 ④自ら課題を見つけて解決しようと行動し、社会に貢献する力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います。 ①基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、ICTの活用など工夫をし、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう「分かる」授業の実践・改善に努めます。 ②総合的な探究の時間では、教科等横断的な視点で、地域社会と自己との関わりから課題を発見し、多様な他者と協働して解決しようとする活動に取り組みます。 ③生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばし、生徒が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるようキャリア教育を推進します。 ④社会に貢献する姿勢を身に付けさせるために、新潟県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などへの積極的な参加を促進します。

2 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （1）運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- （2）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- （3）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3 指導の重点

- ・各種目の基本的な個人的技能やルールを身につけさせる。
- ・社会的な態度を育てる。
- ・自己の体力に気づき生涯にわたり豊かなスポーツライフを送ることの出来る能力を育てる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を持ち、健康・安全を確保して生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 授業の取り組み（態度、参加状況） - 実技試験 - 提出物	- 授業の取り組み（態度、参加状況） - 実技試験 - 提出物	- 授業の取り組み（態度、参加状況） - 実技試験 - 提出物
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 ・ 5	体づくり運動(8h) ダンス(民謡)	体づくり運動 ダンス 新潟甚句 佐渡おけさ	- 手軽な運動や律動的な運動を行うことにより自分や仲間の体や心の状態に気付いたり・体の調子を整えたりすることが出来るようにする。 - 手軽な運動や規則的な運動を行うことにより仲間との交流を豊かにする。 - ダンスの特徴について理解と課題の解決を目指した計画的な実戦を通して交流し発表する。	16	- 授業の取組み（態度、参加状況） - 実技試験 - 提出物
6 ・ 7	4領域選択 球技 ベース型 ゴール型 ネット型 器械運動	ソフトボール サッカー バレーボール 器械運動(マット)	- 個人技能としてスローイング、キャッチング、バッティング、ピッチングなどの技術を身につけるようにする。 - 個人的技能として、パス、ドリブル、トラップング、ヘディング、シュートなどを身につけるようにする。 - 個人技能として、サーブ、レシーブとパス、トス、スパイク、ブロックなどの基本を身につけるようにする。 - 個人技能として、回転系(接転技を中心)と巧技系の技を身につけるようにする。	17	- 授業の取組み（態度、参加状況） - 実技試験 - 提出物
8 ・ 9 ・ 10	陸上競技	長距離走	- ロードレースにあわせ、自己の記録を向上するための体力・技能を高め、記録の更新への喜びや競争の楽しさを味わうことが出来るようにする。 - 長い距離を継続して走ることにより、心肺機能の向上や強い精神力が養われるようにする。	15	- 授業の取組み（態度、参加状況） - 実技試験 - 提出物
10 ・ 11 ・ 12	3領域選択 球技 ゴール型 ネット型 器械運動 体づくり運動(3h)	サッカー バスケットボール バドミントン	- 個人的技能として、パス、ドリブル、トラップング、ヘディング、シュートなどを身につけるようにする。 - 個人的技能として、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につけるようにする。 - 個人技能としてハイクリア、ドロップ、ロブ、ネット、ヘアピン、ドライブなど	27	- 授業の取組み（態度、参加状況） - 実技試験 - 提出物

	体育理論 (3h)	器械運動 (マット)	を身につけるようにする。		
		スポーツの発祥と 発展	・個人技能として、回転系（接転技を中心）と巧技系の技を身につけるようにする。 ・人間にとって「動く」とは何か ・スポーツの始まりと変遷 ・スポーツ文化の楽しみ方		
12 ・ 1 ・ 2 ・ 3	3 領域選択 球技 ゴール型 ネット型 武道 体づくり 運動(6h)	バスケットボール バレーボール バドミントン 武道（柔道）	・個人的技能として、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につけるようにする。 ・個人技能として、サーブ、レシーブとパス、トス、スパイク、ブロックなどの基本を身につけるようにする。 ・個人技能としてハイクリア、ドロップ、ロブ、ネット、ヘアピン、ドライブなどを身につけるようにする。 ・礼法、受け身を習得し、投げ技の基本動作や寝技を習得し、相手を安全に投げたり、抑えたりすることができる簡易的な攻防をする。	30	・授業の取組み（態度、参加状況） ・実技試験 ・提出物
	体育理論 (3h)	スポーツの発祥と 発展	・オリンピックと国際理解 ・スポーツと経済 ・ドーピングとスポーツ倫理		

計 1 0 5 時間（50 分授業）

7 課題・提出物等

単元ごとに、実技テスト等の課題、提出物があります。

8 担当者からの一言

健康管理に注意し、欠席をせずに出席し、一生懸命取り組んでください。